



平成 28 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 P A L T A C
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 木 村 清 隆
(コード番号:8283 東証一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 嶋 田 政 治
(TEL. 06-4793-1090)

中期経営計画の上方修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 7 月 29 日に公表いたしました中期経営計画（3 年）の数値目標につきまして、下記のとおり上方修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の理由

直近数年の化粧品・日用品、一般用医薬品卸売業界におきましては、雇用・所得環境の持ち直し等に伴う消費動向の改善や一部地域における訪日外国人のインバウンド消費拡大などにより、市場としては成熟を迎えながらも改善傾向で推移しております。

このような環境のなか、当社ではさらなる生産性向上を目指し、様々な取組みを社内外において遂行しております。サプライチェーン全体の最適化・効率化を実現するため、全社を挙げて取り組んできた改善活動は、徐々にその成果を現しつつあります。また、前事業年度は伊東秀商事株式会社と合併し、お互いが培ってきた事業資産・ノウハウの集約を進めてまいりました。これらの結果、平成 29 年 3 月期の業績予想にて、中期経営計画の最終年度（平成 30 年 3 月期）に掲げた数値目標を 1 年前倒しで達成する見込みとなりましたので、下記のとおり上方修正することいたしました。

2. 中期経営計画の数値目標

(単位：百万円)

	平成 30 年 3 月期 修正前	平成 30 年 3 月期 修正後	増減額
売上高	880,000	930,000	50,000
営業利益	16,500	18,000	1,500
経常利益	18,500	20,000	1,500
当期純利益	12,000	13,500	1,500

なお、中期経営計画に掲げております基本方針、『社会に真に必要とされる中間流通業に向けた取組み』、及び 4 つの重点戦略①『機能強化を支える「情報システムの強化」』、②『環境変化に耐える「さらなる生産性向上」』、③『中間流通業としての「機能強化」』、④『持続的成長を実現させる「人材の育成」』につきましては、今後も継続して取組み、将来に向けた強固な事業基盤の構築に努めてまいります。

以 上